

# 「三原米の里多様な森林づくり活動」の推進

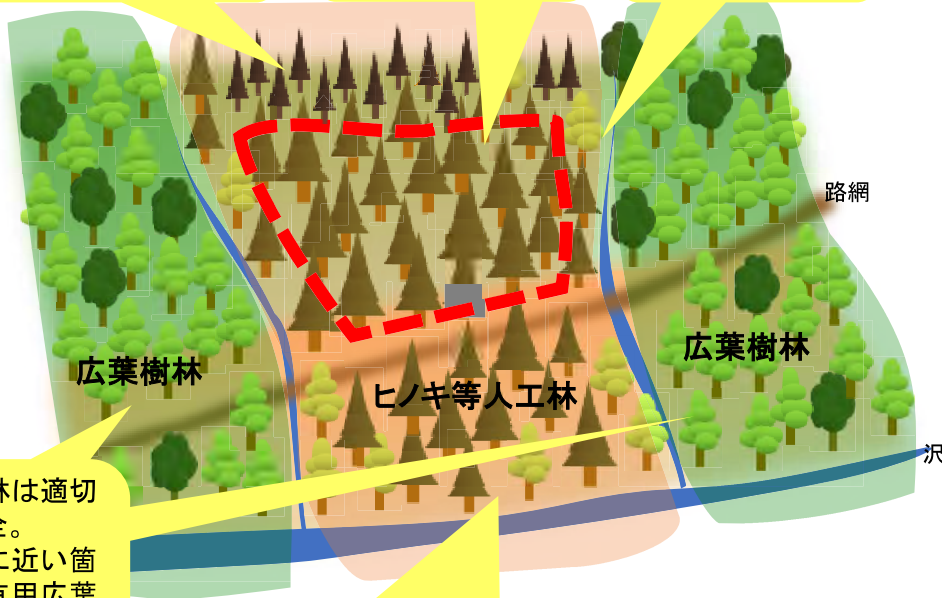
- 三原村は、高知県西部に位置し、三原米、どぶろく、ゆず等の農業・農産加工業、林業が主要産業の中山間の村で、村有林の針葉樹伐採跡地にクヌギ等の広葉樹を植栽し、三原米を育む水源の保全等の活動を推進。
- このため、三原村と四万十森林管理署が「三原米の里多様な森林づくり協定」を締結し、隣接する村有林と国有林で、村、地域住民、森林管理署が連携し、地域の特産品である三原米の水源を育む多様な森林づくりに向けたクヌギ等の広葉樹化、針葉樹と広葉樹の混交林化、森林環境教育、森林とのふれあい等の活動を推進。

## ■三原米の里多様な森林づくりのイメージ

人工林でも、斜面上部の成績不良地や施業不適正地は、針広混交林へ誘導

林道から近く施業条件の良い箇所は主伐再造林

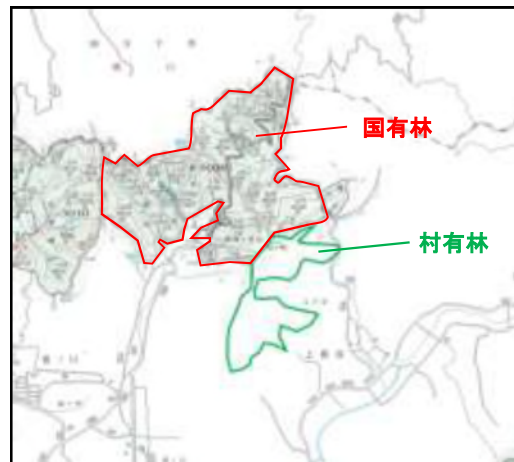
沢筋に保護樹帯を設置し、針広混交林へと誘導



溪畔林は適切に保全。林道に近い箇所に有用広葉樹等がある場合、人工林の主伐の際に一部利用することも検討。

沢沿いは長伐期施業を指向し、間伐の繰返しにより大径木を育成しつつ、全体として針広混交林へ誘導。林道沿いの大径木は主伐の際に併せて伐採し利用。

## ■対象区域（三原村上長谷地区）



## ■クヌギ苗木が植栽された村有林内



## ■三原米、どぶろく



## ■三原村

